# 法人名 公益社団法人 山梨県青果物経営安定基金協会

【法人の概要】

代	表 者	名	会長理事	澤井	實		所飠	會部 (	(局)課	農政部	果樹•6次産業振	興課
所	在	地	甲府市飯田一丁	11番2	0号(山梨県	JA会館)	電	話	番号	055-2	232-1527	
ホーム	ムページし	JRL					E-m	ail ア	ドレス	seikakik	n@wish.ocn.ne.jp	
資本金	金(基本則			804,903 千円				立 年	月日	昭和46年4月1日(平成15年4月1日統合により名称変		
	出資川	頁位			出	資者名等					出資額	出資比率
	1		農協								339,650 千円	42.2 %
	2		山梨県								82,700 千円	10.3 %
	3		連合会								37,050 千円	4.6 %
主	4		市町村								31,110 千円	3.9 %
な	5		中央果実協会								15,000 千円	1.9 %
	6		青果市場関係					1.3 %				
出資者等	7		千円					0.0 %				
名	8										千円	0.0 %
车	9										千円	0.0 %
77	10		千円 0					0.0 %				
	出資そ		他 51 団体(者) 1,995 千円 0.2					0.2 %				
	その		積立金繰入(								27,471 千円	3.4 %
	その	他	積立金繰入(	事業積	立金引当	資金)					259,670 千円	32.3 %
											804,903 千円	
≞п											月に設立され、青月	
設立	立 安定、生産振興及び需要拡大、災害時における果樹経営安定資金の利子補給など、産地の維持・発展に資											
目 的経 糸	的 するための事業を実施しており、平成25年4月1日に公益社団法人に移行した。 緯 金利の低い状態が続き、預かり出資等基金の運用益が減少しているが、過去の運用益の充当で経営を維											
	韓 金利(	の低し	い状態が続き、	預かり	出資等基	金の運用	月益な	が減り	としている	るが、過ぎ	5の運用益の充当	で経営を維
概況等	等 持しているため、管理費·運営費の節減や基金運用益の確保に努めるなど経営改善に取り組んでいる。											

【主要事業の概要】

<u> 1 工 女 于</u>	マ木 ツル女』				
	主な事業名	内容	事業犯	費(単位:	千円)
土は争未石		四台	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業1	策事業(果樹経営支援 対策事業、未収益期間 支援事業等)	各産地の果樹産地構造改革計画に基づき、地域の担い手が行う優良品種への改植等への取組に対し、助成を行う。また、改植等を実施した場合に発生する未収益期間に対する助成も同時に行う。	352,162	201,138	174,694
事業2		県産青果物の摂取促進を図るため、全農山梨県本部と 県農畜産物販売強化対策協議会と協賛で小学校への 出前授業の実施等の食育推進活動を行う。		1	
事業3	野菜価格安定事業(一般野菜、特定野菜)	主要野菜の市場価格が基準値を下回った際、生産者への価格補填のための資金造成と補給金の交付を行う。	759	650	934

【組織】																	
	年	度 平	<b>戎</b> 3	0	年度			令和	元	年度	ŧ		令和	2 年	度		
各年度	4月1日現在		職員	ロパ	県職員派遣 県職員兼務	県 O B	その他		職 プロパー 員	県職員派遣	戦 県 員 O 東 B	その他		巾買パ派	県職員兼務	県 O B	その他
	理事(常勤)		0					0					0				
	理事(非常勤	<b>ከ</b> )	9				9	9				9	9				9
役員等	監事(常勤)		0					0					0				
汉貝司	監事(非吊里	<b>h</b> )	2				2	2				2	2				2
	評議員		0					0					0				
	計	1	1	0	0 0	0	11	11	0	0	0 0	11	11	0 0	0	0	11
	管理職		0					0					0				
	一般職員		2	2				2	2				2	2			
職員	臨時職員		0					0					0				
	非常勤職員		1				1	1	$\backslash$	/		1	1			1	
	計		3	2	0 0	0	1	3	2	0	0 0	1	3	2 0	0	1	0
令	和2年度	年齢	~20	21	~30	31~	40 41	~50	51~	60 6	31歳以上	合討	†	平均年	F齢	平均	年収
プロパー職員 男		男性									_	0	役常	Ŕ		(	(千円)
_ ·		女性				1		1				2	員菫	<del></del>			
(令和3年4月1日現在)		合計	0		0	1		1	0		0	2	職常	<b></b> 40		(	(千円)
								員菫	ភ្ជ <del>ា</del> 43		4	,800					

【経営の状況】 (単位:千円)

受取会費・受取寄付金 受託事業収益 2,500 2,500 2,300 △ 2 自主事業収益 受取補助金等 360,600 210,422 180,035 △ 30,3 その他の収益 10,801 11,151 12,081 9 経常収入 計 375,452 225,347 195,390 △ 29,6 事業費 373,649 223,390 193,553 △ 29,6 「うち人件費 12,886 13,084 13,408 3 管理費 1,769 1,849 1,842 △ 「うち人件費 1,432 1,454 1,490 195,395 △ 29,6 経常文出 計 375,418 225,239 195,395 △ 29,6 経常外収入 100,000 194 当期経常増減額 34 108 △ 5 △ 1 当期経常外増減額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減
正正味財産       2,500       2,500       2,300       △ 2         自主事業収益       360,600       210,422       180,035       △ 30,3         その他の収益       10,801       11,151       12,081       9         経常収入計       375,452       225,347       195,390       △ 29,6         事業費       373,649       223,390       193,553       △ 29,6         管理費       1,769       1,849       1,842       △         経常支出計       375,418       225,239       195,395       △ 29,6         経常外収入       100,000       100,000       00       00       00         経常外支出       100,000       00 <td></td> <td></td> <td>1,551</td> <td>1,274</td> <td>974</td> <td>△ 300</td>			1,551	1,274	974	△ 300
正 味 財産の						0
正 味 財産 の			2,500	2,500	2,300	△ 200
正 味 財産 の 大沢						0
経常収入 計			360,600	210,422	180,035	△ 30,387
本			10,801	11,151	12,081	930
財産の	叶		375,452	225,347	195,390	△ 29,957
産の状況     175人件貨     12,886     13,084     13,408     3       管理費     1,769     1,849     1,842     △       経常支出計     375,418     225,239     195,395     △     29,8       経常外収入     100,000     100,000       経常外収入     100,000       経常外支出     100,000       当期経常外増減額     0     0     0       当期一般正味財産増減額     34     108     △ 5     △ 1       当期指定正味財産増減額     △ 10,296     △ 10,247     △ 15,217     △ 4,9       正味財産期末残高     326,333     316,194     300,972     △ 15,2	时		373,649	223,390	193,553	△ 29,837
の状況     1,769     1,849     1,842     2       20     55人件費     1,432     1,454     1,490       経常支出計     375,418     225,239     195,395     △ 29,8       当期経常増減額     34     108     △ 5     △ 1       経常外収入     100,000        経常外支出     100,000        当期経常外増減額     0     0     0       当期一般正味財産増減額     34     108     △ 5     △ 1       当期指定正味財産増減額     △ 10,296     △ 10,247     △ 15,217     △ 4,9       正味財産期末残高     326,333     316,194     300,972     △ 15,2	产		12,886	13,084	13,408	324
状況     105人件質 経常支出計     1,432     1,434     1,490       経常支出計     375,418     225,239     195,395     △ 29,8       当期経常増減額     34     108     △ 5     △ 1       経常外収入 経常外支出     100,000     ○     ○     ○     ○       当期経常外増減額     0     0     ○     ○       当期一般正味財産増減額     34     108     △ 5     △ 1       当期指定正味財産増減額     △ 10,296     △ 10,247     △ 15,217     △ 4,9       正味財産期末残高     326,333     316,194     300,972     △ 15,2			1,769	1,849	1,842	△ 7
記載		うち人件費	1,432	1,454	1,490	36
日期程常増減額   34   108   公5   公1   100,000   日報   100,000   日報   100,000   日報   100,000   日報   100,000   日報   100,000   日期   1	1人	経常支出 計	375,418	225,239	195,395	△ 29,844
経常外支出     100,000       当期経常外増減額     0     0       当期一般正味財産増減額     34     108     △ 5     △ 1       当期指定正味財産増減額     △ 10,296     △ 10,247     △ 15,217     △ 4,9       正味財産期末残高     326,333     316,194     300,972     △ 15,2	<i>1)</i> L		34	108	△ 5	△ 113
当期経常外増減額       0       0       0         当期一般正味財産増減額       34       108       △ 5       △ 1         当期指定正味財産増減額       △ 10,296       △ 10,247       △ 15,217       △ 4,9         正味財産期末残高       326,333       316,194       300,972       △ 15,2			100,000			0
当期一般正味財産増減額       34       108       △ 5       △ 1         当期指定正味財産増減額       △ 10,296       △ 10,247       △ 15,217       △ 4,9         正味財産期末残高       326,333       316,194       300,972       △ 15,2			100,000			0
当期指定正味財産増減額△ 10,296△ 10,247△ 15,217△ 4,9正味財産期末残高326,333316,194300,972△ 15,2			0	0	0	0
正味財産期末残高 326,333 316,194 300,972 △ 15,2			34	108	<u> </u>	△ 113
正味財産期末残高 326,333 316,194 300,972 △ 15,2			△ 10,296	△ 10,247	△ 15,217	△ 4,970
		正味財産期末残高	326,333	316,194	300,972	
(单位: 十)						(単位:千円)

平成29年度 目 平成30年度 令和元年度 増減 流動資産 1,114 1,416 1,039 △ 377 固定資産 856,664 847,429 833,431 △ 13,998 資産 計 △ 14,375 857,778 848,845 834,470 流動負債 財 570 764 392 △ 372 務状 うち短期借入金 固定負債 530,875 533,106 1,219 531,887 況 うち長期借入金 531,445 532,651 533,498 847

正味財産 326,333 316,194 300,972 △ 15,222 うち基本財産への充当額 0 325,789 315,542 301,138 △ 14,404 (単位:千円)

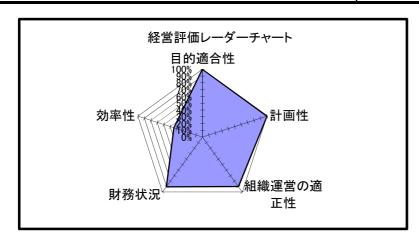
		_	_	^ <del></del> -	\ <del>+</del>   <del>\</del> -  1   1/
	項   目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減
	負担金				0
県	人件費補助金				0
の	人件費以外の補助金				0
財	運営費補助金	0	0	0	0
政	事業費補助金	5,706	6,816	451	△ 6,365
的	補助金 計	5,706	6,816	451	△ 6,365
関	人件費委託金				0
与	人件費以外の委託金				0
の	委託金 計	0	0	0	0
状	県支出金 計	5,706	6,816	451	△ 6,365
況	県の財政的関与の割合(%)	1.5	3.0	0.2	△ 2.8
	<b>県貸付金残高</b>				0
	<b>県債務負担実際残高</b>				0

### 【県の財政的関与の状況(令和元年度)】

項目	内容·目的·金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	野菜価格安定事業費補助金451千円 一般、特定野菜の市場価格が保証基準額を下回った際に、生産者に価格差補給金を交付する ことにより、野菜生産農家の健全な発展と県民の消費生活の安定に寄与する。 (内訳)一般野菜:451千円 [2品目:夏秋トマト、夏秋きゅうり]
委託金	該当なし
県債務負担 実際残高	該当なし

## 【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と 適合した業務を行っているかを問う視点	3	10	10	100.0%
計 画 性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業 運営に取り組んでいるかを問う視点	3	10	10	100.0%
組織運営の 適 正 性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	10	9	90.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	42	38	90.5%
効 率 性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的 な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	18	8	44.4%
	合 計	21	90	75	83.3%



#### 【警戒指標数】

目標達成度 正味財産増減 流動比率 借入金依存率 債務超過
流動比率 借入金依存率
借入金依存率
12
<b>建致却</b> 。
1月份 但
県の将来負担見込
回収不能債権
県の債務処理補助等
公益認定基準抵触

# 【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	果樹、野菜など青果物の価格安定対策や競争力の高い果樹産地の育成に向けた果樹経営支援対 策事業等を実施することにより、県内の青果物生産農家の経営安定に寄与している。
計画性	年次事業計画及び経営計画に基づき、関係機関と連携しながら事業、業務を実施している。
組織運営の 適 正 性	公益認定を受けるにあたり、定款及び公益認定に必要な規程等を整備し、公益認定法に基づいた適 正な管理体制による運営、情報公開を行っている。
財務状況	公益認定を受けるにあたり、会計の見直しを実施し、基本財産は全て使途が限定される特定資産へと振り替えた。また、公益目的事業に係る資産と管理費に係る資産の配分を行い、事業会計と法人会計(管理費)で区分して管理することとなった。低金利により運用益の増収は見込めない中、元金の保証された預金で管理している。
効 率 性	県内の果樹、野菜などの青果物生産農家の経営安定に向けた多様な事業を最低限の人数で実施している。
総合的評価	公益認定を受けたことで、組織運営については法律に基づき適正な体制で実施している。財務及び 収支については、公益法人会計基準に基づき、公益事業会計と法人会計として区分し、管理費等の経 費削減に努めている。



対応策

管理費等の削減と堅実な資金運用により財源の確保に努める。

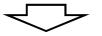
### 【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	果樹経営支援対策事業、野菜の価格安定対策事業、果樹の災害融資事業等、本県農家の経営安定に向けた公益的な事業を実施しており、設立当初の目的に適合している。
計画性	年次事業計画や経営改善計画を作成し、それらに基づく事業運営に取り組んでいる。引き続き、目標の達成状況の確認や分析を行うとともに、現在改定作業を行っている次期経営計画に反映させること。
組織運営の 適正性	職員は、非常勤1名、一般職員2名の必要最小数の組織体制であり、重要な意思決定は理事会で決議している。また、毎年、協会監事による監査を受け、適正な組織運営に努めている。業務上発生するリスクの洗い出しや対応方法等について定期的な確認を行っていく必要がある。
財務状況	公益認定を受け、公益目的事業会計と法人会計を区分するなど公益法人会計基準に基づく 適正な執行を行っている。 運用益の確保に努めているが、低金利の現状では安定した運用益を得られない状況にある ため、引き続き、管理費等の削減と堅実な資金運用による財源の確保に努める必要がある。
効率性	引き続き、効率的な経費の執行等に取り組む必要がある。なお、本法人が主として行う果樹経営支援等対策事業と野菜の価格安定事業であるが、果樹経営支援等対策事業は農家が果樹の改植・新植等をする際に補助するものであり、当該年度は申請園地数が減少したことから経常費用(果樹支援対策事業費等)も減少している。また、野菜の価格安定事業は前年度の価格補てんの実績が翌年度に計上される仕組みとなっており、平成30年には価格補てんが必要となる市場価格の下落が少なかったことから、経常費用(指定野菜事業交付金)は減少している。これに伴い、人件費比率、管理費比率が減少し、効率性の評点が下がっているが、法人経営の効率性の実態を反映したものではない。
総合的評価	果樹経営安定対策事業、価格安定対策事業、災害融資事業等を実施しており、農家の経営安定や本県果樹産地の構造改革に取り組むため必要な法人である。 公益社団法人として、管理費等の削減に努め、経営の安定を図る必要がある。

#### 【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

	《性古計画女兵云、性古侯的女兵云にある心口計画/
	↑ A 得点率80%以上かつ警戒指標なし
総合評価	B 得点率70%以上80%未満または警戒指標が1
ランク	得 点 率 83.3 % C 得点率60%以上70%未満または警戒指標が2
	警 戒 指 標 数 0 D 得点率60%未満または警戒指標が3以上
総合的所見	・令和元年度は、未払金等の流動負債が減少し、流動比率が上昇したことなどから、財務状況の評価が向上し、A評価となった。 ・効率性の評価が下がっているが、これは果樹農家の改植・新植等の状況や野菜価格の動向等、法人の経営努力が反映されにくい外的な要因により事業費が減少したことで、人件費比率及び管理費比率が相対的に上昇したことによるものであり、人件費及び管理費に大きな変動はない。 ・一般正味財産増減額の赤字は軽微であり、収支はほぼ均衡している。一方、管理費等の財源となる特定資産運用益が金利低迷により減少しており、事業積立資産を取り崩して事業を実施している状況であることから、正味財産の減少が続いている。 ・今後も農家の経営安定等に向けた支援事業を確実に実施していくため、経費の削減や事業の効果的・効率的執行により、法人経営の長期的な安定化に努める必要がある。

# 【総合所見等に対する今後の対応方針】



- ・県産野菜の安定出荷や果樹産地の生産基盤強化に向けた改植支援等、今後も農家の経営安定等に向けた支援事業を確実に実施していく。
- ・金利低下による基金運用益の減少等により、管理費等の財源の確保が厳しい状況であるが、引き続き、経費の削減や事業の効果的・効率的執行により、法人経営の長期的な安定化に努めていく。
- ・また、令和3年度から3年間を計画期間とする新たな経営計画に基づき、引き続き経営の効率化等に取り組んでいく。